

九州保健福祉大学学則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法の本旨にのっとり、国際化社会に向けて、介護・福祉・医療・薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする。

2 本学の学部ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

学 部	目 的
社会福祉学部	社会福祉に関する専門知識及び技術を教授すると共に、豊かな人間性を涵養し、福祉分野等で即戦力として活躍しつつ福祉社会の創造的担い手となる専門職業人の養成を目的とする。
保健科学部	医療・保健分野における高度な専門知識及び技術と科学的思考力を教授し、人に対する豊かな感性と強い倫理観を備えた対人コミュニケーション能力の高い専門職の養成を目的とする。
薬 学 部	高度な専門知識・技術とコミュニケーション能力を授け、生涯にわたって最先端医療に貢献できる薬剤師、また、薬学及び実験動物学の知識を持ち、科学的考察力と問題解決能力を備えた専門家の養成を目的とする。
生命医科学部	生命に対する深い関心と確かな倫理観を培うことを基盤とした豊かな人間性を有し、臨床検査技師及び癌診断のスペシャリストである細胞検査士として、さらには疾患治療基盤の確立を思考する優れた医療人の養成を目的とする。

3 本学の学科又は専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は次のとおりとする。

学 部	学科・専攻	目 的
社会福祉学部	スポーツ健康福祉学科	社会福祉に関する知識と技術を有し、スポーツやレクリエーションの専門的スキルを活かして、予防医学、健康保持の側面からも社会福祉の分野で活躍できる人材の養成を目的とする。
	臨床福祉専攻	ノーマライゼーションの理念の基に、ソーシャルワークの専門的知識と心のケアに関する理論と実践を教授し、臨床実践能力を備えたソーシャルワーカーの養成を目的とする。
	臨床心理専攻	心理学の基礎と臨床への応用を体系的に教授し、人間の心と行動への深い洞察力を築き、精神障害の治療、対人関係やこころの健康を援助する専門家、また、他の分野においても心理学の知識を活用し活躍できる人材を養成する。
保健科学部	作業療法学科	科学的視点に基づいた高度な知識と技術を教授し、豊かな人間性と国際的な感覚を養い、チーム医療のリーダーとしての実践能力を備えた作業療法士の養成を目的とする。
	言語聴覚療法学科	言語聴覚療法に関する高度な臨床的知識と技術を教授し、豊かな人間性、コミュニケーション能力、柔軟な思考力を培い、リハビリテーションの一翼を担う臨床能力の高い言語聴覚士の養成を目的とする。
	視機能療法学科	視能学に関する高度な専門的知識と技術を教授し、豊かな人間性と実践力を培い、一人ひとりの視能を最大限に引き出し引き伸ばしチーム医療に貢献できる視能訓練士の養成を目的とする。
	臨床工学科	医療チームの一員として、医学や医療の知識、コミュニケーション能力を備え、発展していく医療機器の変化にも十分対応できる、柔軟性と即応性をもった人材の養成を目的とする。
薬学部	薬 学 科	「患者を中心とした医療」を実践するために、薬学に関する高度な専門知識と技術を教授し、臨床に係る実践的な能力を培い、倫理観、使命感、実行力を有し社会で即戦力となる質の高い薬剤師の養成を目的とする。
	動物生命薬科学科	薬学及び実験動物学の知識を基盤として持ち、医薬品、化粧品、食品、環境及び動物のさまざまな分野において、常に問題解決を念頭に置いて活躍することができる専門家の養成を目的とする。
科学部 生命医	生命医科学科	生命に対する深い関心と確かな倫理観を培うことを基盤とした豊かな人間性を有し、臨床検査技師及び癌診断のスペシャリストである細胞検査士として、さらには疾患治療基盤の確立を思考する優れた医療人の養成を目的とする。

(自己点検評価)

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及

び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価に関することは、別に定める。

(学部、学科及び収容定員)

第3条 本学に次の学部及び学科を置き、収容定員は次のとおりとする。

		入学定員	編入学定員			収容定員
			2年次	3年次	4年次	
社会福祉学部	スポーツ健康福祉学科	40名		2名		164名
	臨床福祉学科	65名		5名		270名
	臨床福祉専攻	45名		5名		
	臨床心理専攻	20名				
	子ども保育福祉学科	—				—
保健科学部	作業療法学科	40名				160名
	言語聴覚療法学科	40名				160名
	視機能療法学科	40名				160名
	臨床工学学科	50名				200名
薬学部	薬学科	140名	3名		3名	864名
	動物生命薬科学科	40名				160名
生命医科学部	生命医科学科	60名				240名

2 社会福祉学部スポーツ健康福祉学科に鍼灸健康福祉コースを設け、鍼灸健康福祉コースに関する規程は、別に定める。

3 社会福祉学部臨床福祉学科臨床福祉専攻に介護福祉コースを設け、介護福祉コースに関する規程は、別に定める。

4 本学に次の別科を置き、収容定員は次のとおりとする。別科に関する規程は、別に定める。

	入学定員	収容定員
視機能療法学別科	40名	80名
臨床工学別科	40名	40名

(修業年限)

第4条 本学の修業年限は、4年とする。ただし、薬学部薬学科においては、6年とする。

(在学期間)

第5条 前条の年限は、疾病その他の事由により延長することはできるが、在学期間は修業年限の2倍の年数をこえることはできない。

第2章 学年・学期及び休業日

(学年)

第6条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第7条 1学年の授業期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とし、1学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の学期の開始日及び終了日については、学長は臨時に変更することができる。

(休業日)

第8条 学年中の定期休業日は、次のとおりとする。

一 日曜日

二 国民の祝日に関する法律に規定する祝日（祝日が前号と重複する場合はその翌日）のうち学長が定める日

三 創立者の日 4月30日

四 創立記念日 5月4日

五 夏期休業

六 冬期休業

七 学年末休業

2 前項五から七までの休業日については、学年のはじめまでに学長が定める。

3 臨時の休業日は、その都度学長が定める。

第3章 授業科目及び単位数

(授業科目の区分)

第9条 各学部において開設する授業科目は、次のとおりとし、これを4年間に配当して教授する。ただし、薬学部薬学科においては、6年間に配当して教授する。

学 部	学 科	授 業 科 目
社 会 福 祉 学 部	ス ポ ー ツ 健 康 福 祉 学 科	基礎科目・専門教育科目・教職に関する科目
	臨 床 福 祉 学 科	基礎科目・専門教育科目・教職に関する科目
保 健 科 学 部	作 業 療 法 学 科	基礎科目・専門教育科目
	言 語 聴 覚 療 法 学 科	基礎科目・専門教育科目
	視 機 能 療 法 学 科	基礎科目・専門教育科目
	臨 床 工 学 科	基礎科目・専門教育科目
薬 学 部	薬 学 科	基礎科目・専門教育科目
	動 物 生 命 薬 科 学 科	基礎科目・専門教育科目
生 命 医 科 学 部	生 命 医 科 学 科	基礎科目・専門教育科目

(基礎科目)

第10条 社会福祉学部の基礎科目の単位数は別表Ⅰ－(1)のとおりとする。

2 保健科学部の基礎科目の単位数は別表Ⅰ－(2)のとおりとする。

3 薬学部の基礎科目の単位数は別表Ⅰ－(3)のとおりとする。

4 生命医科学部の基礎科目の単位数は別表Ⅰ－(4)のとおりとする。

(専門教育科目)

第11条 社会福祉学部の専門教育科目の単位数は別表Ⅱ－(1)のとおりとする。

2 保健科学部の専門教育科目の単位数は別表Ⅱ－(2)のとおりとする。

3 薬学部の専門教育科目の単位数は別表Ⅱ－(3)のとおりとする。

4 生命医科学部の専門教育科目の単位数は別表Ⅱ－(4)のとおりとする。

(教職に関する科目)

第12条 社会福祉学部の教職に関する科目の単位数は別表Ⅱ－(1)のとおりとする。

(授業科目の単位の基準)

第13条 1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

一 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

二 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(授業の方法)

第13条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

4 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第1項の授業の一部を、校舎及び附属施設以外の場所で行うことができる。

5 前2項に関する規程は別に定める。

第4章 入学・休学・転学・留学及び退学

(入学の時期)

第14条 入学の時期は、学年の始めとする。

2 前項の規程にかかわらず、教育上支障がない場合に限り、再入学及び転入学並びに外国人留学生及び帰国子女については、第7条に定める後期の始めとすることができる。

(入学の資格)

第15条 本学の第1年次に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

一 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者

二 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)

三 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの

四 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

五 文部科学大臣の指定した者

六 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む）

七 本学の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（入学の出願）

第16条 本学に入学を希望する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に指定する書類を添えて、本学に願い出なければならない。

2 入学願書の受付期間は、別に定める。

3 第2項の規定は、第20条、第23条及び第24条の規定により入学を志願する場合にも、これを準用する。

（入学者の選考）

第17条 入学志願者については、学力、人物、健康状態について選考する。

第18条 入学試験合格者は、学長が当該教授会の意見を聴き、決定する。

（入学手続）

第19条 入学試験合格者は、指定の期日までに本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学金、授業料及びその他の諸納付金を納入し、かつ所定の宣誓をしなければならない。

2 入学試験合格者が、故なくして前項の手続きを怠るときは、合格の許可を取り消すことがある。

3 第1項の手続きを完了した者に対して、学長は入学を許可する。

4 編入学、転入学及び再入学の場合も同様とする。

（編入学）

第20条 本学の3年次編入学定員のある学科に編入学を希望する者は、選考の上、学長が当該教授会の意見を聴き、編入学を許可する。ただし、2年次以降で、当該学科の収容定員に欠員のある場合も同様とする。その他、教育上支障がないと認められた場合も許可することがある。

2 編入学による学生の在学期間は、入学を許可された年次に応じた在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えることはできない。

3 編入学に関する規程は、別に定める。

（転学部・転学科・転専攻）

第21条 学生が、所属学部から他の学部へ転学部、所属学部内において他の学科へ転学科、所属学科内において他の専攻へ転専攻をしようとするときは、収容定員に欠員のある場合に限り、選考の上、学長が当該教授会の意見を聴き、許可する。その他、教育上支障がないと認められた場合も許可することがある。

（転入学）

第22条 学生が他の大学へ転学又は入学を志願しようとするときは、学長へ願い出て許可を受けなければならない。

第23条 他の大学から転入学を志願する者については、収容定員に欠員のある場合に限り、選考の上、学長が当該教授会の意見を聴き、許可する。その他、教育上支障がないと認められた場合も許可することがある。

（再入学）

第24条 次の各号の一に該当する者が所定の手続きを経て入学を願い出たときは、選考の上、学長が当該教授会の意見を聴き、入学を許可する。

一 本学を第31条により退学し、同一学科に再入学を願い出た者

二 第41条の二により除籍された者で、別に定める規定により再入学を願い出た者

2 前項による入学者のすでに修得した単位及び在学した期間の認定は、学長が当該教授会の意見を聴き、決定する。

（留学）

第25条 本学が教育上有益と認めるときは、外国の大学との協議に基づき学生が当該大学に留学することを認めることができる。

2 前項の留学した期間は、第4条に規定する修業年限に算入するものとする。

3 第33条第1項及び第2項の規定は学生が留学する場合について準用する。

（休学）

第26条 学生は、疾病その他の事由により、引続き3月以上修学困難な場合は、医師の診断書または詳細な事由書を添えて、保証人連署のうえ学長に願い出て、許可を受け休学することができる。

2 疾病その他の事由により、修学することが適当でないと認められる学生に対しては、学長が当該教授会の意見を聴き、期間を定め、休学を命ずる。

第27条 休学期間は、引続き1年をこえることはできない。

ただし、特別の事由があるときは、さらに1年以上の休学を許可することがある。

第28条 休学期間は、通算して修業年限をこえることはできない。

第29条 休学期間は、在学期間に算入しない。

（復学）

第30条 休学期間中に、その事由が消滅した場合は、復学願いを提出して学長の許可を受けて復学することができる。

（退学）

第31条 学生が疾病その他の事由により退学しようとするときは、医師の診断書または詳細な事由書を添え、保証人連署をもって学長に願い出て許可を受けなければならない。

第5章 授業科目の履修単位修得の認定及び卒業及び学位

（授業科目の履修及び単位の認定）

第32条 学生は、授業科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

2 授業科目を履修した者に対しては、試験又はその他の方法により、第36条に基づき学習の評価を行い、合格した者に当該科

目の単位を認定する。

- 3 臨床福祉学科臨床福祉専攻介護福祉コースの社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則別表第4（第5条―第7条）に係る科目については、出席時間数が授業時間数の3分の2（介護実習は5分の4）に満たない者に対しては、単位を認定しない。
（他大学又は短期大学における授業科目の履修等）

第33条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定により履修したものとみなす単位数は、学長が当該教授会の意見を聴き、60単位を限度として卒業の要件となる単位として認める。
（大学以外の教育施設等における学修）

第34条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が短期大学又は高等専門学校等の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
（入学前の既修得単位数の認定）

第35条 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に、大学又は短期大学において、履修した授業科目について修得した単位を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし単位を与えることができる。
3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外については、第33条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

（学習の評価）

第36条 成績は100点をもって満点とし、60点以上を合格とする。これを公表する場合は、秀（S）・優（A）・良（B）・可（C）・不可（D）の評価をもってし、不可（D）は不合格とする。

（卒業）

第37条 本学に、第4条に定める年限以上在学し、次の各号に定める授業科目を履修し、単位を修得することによって、次表の単位数を満たした者に対して、学長が教授会の意見を聴き、卒業を認定し、学士の学位を授与する。

学 部	学 科	修得すべき単位数
社会福祉学部	スポーツ健康福祉学科	124単位以上
	臨床福祉学科	
	臨床福祉専攻	124単位以上
	臨床心理専攻	124単位以上
	作業療法学科	126単位以上
保健科学部	言語聴覚療法学科	126単位以上
	視機能療法学科	126単位以上
	臨床工学学科	126単位以上
薬学部	薬学	186単位以上
	動物生命薬科学科	124単位以上
生命医科学部	生命医科学科	124単位以上

一 基礎科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修得すべき単位数
社会福祉学部	スポーツ健康福祉学科	24単位以上
	臨床福祉学科	24単位以上
保健科学部	作業療法学科	24単位以上
	言語聴覚療法学科	24単位以上
	視機能療法学科	24単位以上
	臨床工学学科	24単位以上
薬学部	薬学	30単位以上
	動物生命薬科学科	40単位以上
生命医科学部	生命医科学科	24単位以上

二 専門教育科目については、次のとおり修得するものとする。

学 部	学 科	修得すべき単位数
社 会 福 祉 学 部	ス ポ ー ツ 健 康 福 祉 学 科	100単位以上
	臨 床 福 祉 学 科	100単位以上
	臨 床 福 祉 専 攻	
	臨 床 心 理 専 攻	100単位以上
保 健 科 学 部	作 業 療 法 学 科	102単位以上
	言 語 聴 覚 療 法 学 科	102単位以上
	視 機 能 療 法 学 科	102単位以上
	臨 床 工 学 科	102単位以上
薬 学 部	薬 学 科	156単位以上
	動 物 生 命 薬 科 学 科	84単位以上
生 命 医 科 学 部	生 命 医 科 学 科	100単位以上

2 教育職員免許状を受けようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、次の免許状を取得する資格が与えられる。

学 部	学 科	免許状の種類	教 科
社 会 福 祉 学 部	ス ポ ー ツ 健 康 福 祉 学 科	中学校教諭一種免許状	保健体育 保健体育
		高等学校教諭一種免許状	
	臨 床 福 祉 学 科 臨 床 福 祉 専 攻	高等学校教諭一種免許状	福 祉

3 博物館学芸員の資格を得ようとする者は、博物館法及び同法施行規則に定める単位を修得しなければならない。所定の単位を修得して卒業する者には、博物館学芸員資格を取得する資格が与えられる。

(学位)

第38条 学士の学位は、次のとおりとする。

社会福祉学部	学士（社会福祉学）
保健科学部	学士（保健科学）
薬学部	学士（薬学）
動物生命薬科学科	学士（動物生命薬科学）
生命医科学部	学士（生命医科学）

2 学位の授与に関し必要な事項については、本学学位規程の定めるところによる。

第6章 表彰・懲戒及び除籍

(表彰)

第39条 学生が、他の模範となる行為をしたときは、学長が表彰する。

(懲戒)

第40条 学生が、本学の諸規則に違反し、学内外の秩序を乱し、その他学生の本分に反する行為をしたときは、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒の種類は次のとおりとする。

- 訓 告
- 停 学
- 退 学

3 前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

- 一 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- 二 学業を怠り、卒業の見込みがないと認められる者
- 三 正当な理由がなく出席常でない者
- 四 学内外の秩序を乱し学生の本分に反した者

4 停学が引続き3月以上にわたるときは、その期間は修業年限に算入しない。

(除籍)

第41条 学生が、次の各号の一に該当するときは、学長が当該教授会の意見を聴き、除籍する。

- 一 第5条の在学期間修業してなお卒業の認められない者

- 二 正当な理由なく授業料その他の諸納付金納入の義務を怠り、再三の督促を受けてもなお納入しない者
 - 三 第27条に定める休学期間をこえてなお修学できない者
 - 四 長期間にわたり行方不明の者
 - 五 死亡した者
- 2 前項第五号については、当該学生の死亡した日をもって除籍とする。

第7章 入学検定料・入学金及び授業料その他

(納付金の額)

第42条 本学の入学検定料、入学金及び授業料、その他諸納付金は別表Ⅲのとおりとする。

(演習、実習費用)

第43条 演習及び実習などに要する費用は、特に必要があれば別に徴収する。

(納付規程)

第44条 第42条及び第43条の諸納付金は、別に定める規定により納付しなければならない。

2 所定の期日までに納付金の納入を怠っている者は、それを納入するまで、授業及び試験に出席すること、並びに附属図書館備えつけの図書を開覧することを禁止することがある。

(休学中の納付金)

第45条 休学中の休学科は、薬学部薬学科は月額50,000円、その他の学科は月額25,000円とする。

(転学、退学及び停学者の納付金)

第46条 転学、退学及び停学者は、その期の諸納付金は納入しなければならない。

(諸納付金の変更)

第47条 削除

第48条 既納の納付金は原則として返還しない。

第8章 保健及び厚生施設

(保健及び厚生施設)

第49条 本学に保健施設並びに厚生に関する諸施設を設ける。

(健康診断)

第50条 教職員及び学生の健康管理のため健康診断を行う。

第9章 科目等履修生・委託生・特別聴講学生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第51条 本学学生以外の者で本学の特定の科目について履修を願い出た者があるときは、授業に支障をきたさない限り選考の上、科目等履修生としてこれを許可することがある。

2 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

(委託生)

第52条 公共団体又はその他の機関から本学の特定の授業科目について、修学を委託される者があるときは、授業に支障をきたさない限り選考の上、委託生としてこれを許可することがある。

2 委託生に関する規程は、別に定める。

(特別聴講学生)

第53条 他の大学(外国の大学を含む)の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大との協議に基づき、特別聴講学生としてこれを許可することがある。

2 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

(外国人留学生)

第54条 外国人で大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に留学を志願する者があるときは選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関する規程は、別に定める。

第10章 公開講座

(公開講座)

第55条 地域の教育、文化の向上に資するため本学に公開講座を設けることがある。

第11章 特待生

(特待生)

第56条 学生として学力優秀、品行方正かつ身体強健なる者を、特待生とすることがある。

2 特待生に関する規程は、別に定める。

第12章 教職員組織

(教職員組織)

第57条 本学に、学長、副学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他必要な教職員を置く。

第13章 大学協議会及び教授会

(大学協議会)

第58条 本学に、大学協議会を置く。

2 大学協議会に関する規程は、別に定める。

(教授会)

第59条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、全学教授会、学部教授会、代議員教授会をもって組織する。

3 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり、意見を述べるものとする。

一 学生の入学、卒業及び課程の修了

二 学位の授与

三 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別に定めるもの

4 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

5 その他教授会に関する規程は、別に定める。

第14章 通信教育部

(通信教育部)

第60条 本学に通信教育部を置く。

2 通信教育部に関する事項については、別に定める。

第15章 大学院

(大学院)

第61条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する学則については、別に定める。

第16章 附属施設

(附属図書館)

第62条 本学に附属図書館を置く。

2 前項の施設に関する規程は、別に定める。

(附属薬用植物園)

第63条 本学薬学部附属薬用植物園を置く。

2 前項の施設に関する規程は、別に定める。

附 則 この学則は平成11年4月1日から施行する。

附 則 この学則は平成12年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第11条については従前の規定による。

附 則 この学則は平成12年7月1日から施行する。

附 則 この学則は平成13年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第12条、第37条については従前の規定による。

附 則 この学則は平成14年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第10条第2項並びに第11条第2項については従前の規定による。

附 則 この改正学則は平成15年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第10条、第11条、第12条並びに第37条第1項については従前の規定による。

附 則 この改正学則は平成16年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第3条、第9条、第10条第1項、第11条第1項並びに第37条第1項及び第2項については従前の規定による。

附 則 この改正学則は平成17年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第9条、第12条、第37条第2項については従前の規定による。

附 則 この改正学則は平成18年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第3条、第4条、第5条、第9条、第10条第3項、第11条第3項、第28条、第37条第1項については従前の規定による。

附 則 この改正学則は平成19年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第3条、第9条、第10条第1項及び第2項、第11条第1項及び第2項、第12条、第20条第4項、第32条第3項、第37条については従前の規定による。

附 則 この改正学則は平成20年4月1日から施行する。

ただし、この改正前に入学した学生は、第3条、第9条、第10条第1項、第11条第1項、第12条、第37条第1項及び第2項については従前の規定による。

なお、平成19年度に臨床福祉学科臨床福祉専攻及び動物療法専攻に入学した学生は、第11条第1項の別表Ⅱ-(1)については改正学則を適用する。

- 附 則 この改正学則は平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
 ただし、この改正前に入学した学生は、第 10 条、第 11 条及び第 37 条については従前の規定による。
 なお、平成 20 年度に動物生命薬科学科に入学した学生は、第 10 条第 3 項、第 11 条第 3 項及び第 37 条第 4 項については改正学則を適用する。
 また、平成 18 年度、19 年度、20 年度に薬学科に入学した学生は、第 10 条第 3 項、第 11 条第 3 項及び第 37 条第 1 項については改正学則を適用する。
- 附 則 この改正学則は平成22年4月1日から施行する。
 ただし、この改正前に入学した学生は、第3条、第11条第1項及び第12条については従前の規定による。
- 附 則 この改正学則は平成23年4月1日から施行する。
 ただし、この改正前に入学した学生は、第11条第 1 項並びに3項、第36条、第42条、第45条については従前の規定による。
- 附 則 この改正学則は平成24年4月1日から施行する。
 ただし、この改正前に入学した学生は、第10条、第11条、第12条、第37条については従前の規定による。
- 附 則 この改正学則は平成25年4月1日から施行する。
 ただし、この改正前に入学した学生は、第3条、第11条については従前の規定による。
- 附 則 この改正学則は平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
 ただし、この改正前に入学した学生は、第 1 条、第 3 条、第 9 条、第 10 条、第 11 条、第 37 条、第 38 条、第 59 条については従前の規定による。
 なお、第 3 条の規定にかかわらず、臨床福祉学科の編入学定員は平成 29 年度から適用し、平成 27 年度から平成 29 年度までの間の収容定員は次のとおりとする。

学部・学科等	収 容 定 員		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
社会福祉学部 臨床福祉学科	512 名	432 名	351 名
保健科学部 臨床工学科	170 名	180 名	190 名
薬学部 動物生命薬科学科	130 名	140 名	150 名
生命医科学部 生命医科学科	60 名	120 名	180 名

- 附 則 この改正学則は平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
 ただし、この改正前に入学した学生は、第 1 条、第 3 条、第 9 条、第 10 条、第 11 条、第 33 条、第 34 条、第 35 条、第 37 条については従前の規定による。
 なお、第 3 条の規定にかかわらず、平成 28 年度から平成 30 年度までの間の収容定員は次のとおりとする。

学部・学科等	収 容 定 員		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
社会福祉学部 子ども保育福祉学科	150 名	100 名	50 名

別表 I - (1) 社会福祉学部

(基礎科目)

社会福祉学部の基礎科目の単位数は次のとおりである。

区分	科目名	年次	必修	選択	
大学共通基礎科目	共通英語	英語 I	1		2
		英語 II	1		2
	教育情報	情報処理入門	1		2
		情報処理演習	2		2
	総合教育	キャリア教育	1		2
		コミュニケーション論	1		2
		QOLと人間の尊厳	1	2	
		日向国地域論	1		2
		国際保健福祉論	2		2
ボランティア活動		1		2	
学部共通基礎科目	国際理解	英語コミュニケーション	2		2
		中国語 I	1		2
		中国語 II	1		2
		日本語 I	1		2
		日本語 II	1		2
		日本語 III	2		2
		日本語 IV	2		2
		日本語総合講座 I a	1		2
		日本語総合講座 I b	1		2
		日本語総合講座 II a	1		2
		日本語総合講座 II b	1		2
		人間と社会・文化	哲学	1	
	倫理学		2		2
	人間論		1		2
	美術		2		2
	音楽		1		2
	日本国憲法		2		2
	経済学		2		2
	地域人権支援論		2		2
	インターンシップ I		1		1
	インターンシップ II		2		1
	インターンシップ III		2		1
	科学自然	生物学	1		2
		生理学	1		2
		基礎統計学	2		2
	教育健康	生涯スポーツ実習 I	1		1
		生涯スポーツ実習 II	1		1
		健康科学論	2		2
	社会福祉の基礎	社会福祉の基礎	1	2	
		基礎演習 I	1	1	
		基礎演習 II	1	1	

日本語 I・II・III・IV、日本語総合講座 I a・I b・II a・II bは外国人留学生対象科目。

別表 I - (2) 保健科学部
(基礎科目)

保健科学部の基礎科目の単位数は次のとおりである。

作業療法学科

区 分		科 目 名	年次	必修	選択
大学共通基礎科目	共通英語	英語 I	1	2	
		英語 II	1		2
	教育情報	情報処理入門	1	2	
		情報処理演習	2		2
	総合教育	キャリア教育	2		2
		コミュニケーション論	1		2
		QOLと人間の尊厳	1	2	
		日向国地域論	1		2
		国際保健福祉論	2		2
		ボランティア活動	1		2
学部共通基礎科目	生活人間と	保健科学	1		2
		医学概論	1	2	
		生命倫理学	1		2
		医療経済学	1		2
	教育健康	健康科学論	1	2	
		生涯スポーツ論	1		2
		生涯スポーツ実習	1		2
	科学的思考の基盤	医療統計学演習	2		2
		英語コミュニケーション	2		2
		医療英語	1	2	
		社会福祉学	1		2
		哲学	1		2
		社会学	1		2
		生物学	1		2
		心理学	1	2	
	教育学	2		2	

言語聴覚療法学科

区 分		科 目 名	年次	必修	選択
大学共通基礎科目	共通英語	英語Ⅰ	1	2	
		英語Ⅱ	1	2	
	教育情報	情報処理入門	1		2
		情報処理演習	2		2
	総合教育	キャリア教育	2		2
		コミュニケーション論	1		2
		QOLと人間の尊厳	1	2	
		日向国地域論	1		2
		国際保健福祉論	2		2
		ボランティア活動	1		2
学部共通基礎科目	生活人間と	保健科学	1		2
		医学概論	1	2	
		生命倫理学	1		2
		医療経済学	1		2
	教育健康	健康科学論	1	2	
		生涯スポーツ論	1		2
		生涯スポーツ実習	1		2
	科学的思考の基盤	医療統計学演習	2	2	
		英語コミュニケーション	2		2
		医療英語	1		2
		社会福祉学	1	2	
		哲学	1		2
		社会学	1	2	
		生物学	1	2	
		心理学	1		2
	教育学	2		2	

視機能療法学科

区 分		科 目 名	年次	必修	選択
大学共通基礎科目	共通英語	英語Ⅰ	1	2	
		英語Ⅱ	1		2
	教育情報	情報処理入門	1		2
		情報処理演習	2		2
	総合教育	キャリア教育	2		2
		コミュニケーション論	1		2
		ＱＯＬと人間の尊厳	1		2
		日向国地域論	1		2
		国際保健福祉論	2		2
		ボランティア活動	1		2
学部共通基礎科目	人間と生活	保健科学	1		2
		医学概論	1		2
		生命倫理学	1		2
		医療経済学	1		2
	教育健康	健康科学論	1		2
		生涯スポーツ論	1		2
		生涯スポーツ実習	1		2
	科学的思考の基盤	医療統計学演習	2	2	
		英語コミュニケーション	2		2
		医療英語	1		2
		社会福祉学	1		2
		哲学	1		2
		社会学	1		2
		生物学	1	2	
		心理学	1		2
		教育学	2		2

臨床工学科

区 分		科 目 名	年次	必修	選択
大学共通基礎科目	共通英語	英語Ⅰ	1	2	
		英語Ⅱ	1		2
	教育情報	情報処理入門	1		2
		情報処理演習	1		2
	総合教育	キャリア教育	2		2
		コミュニケーション論	1		2
		QOLと人間の尊厳	1	2	
		日向国地域論	1		2
		国際保健福祉論	2		2
		ボランティア活動	1		2
学部共通基礎科目	生活人間と	保健科学	1		2
		医学概論	1	2	
		生命倫理学	2		2
		医療経済学	2		2
	教育健康	健康科学論	1		2
		生涯スポーツ論	1		2
		生涯スポーツ実習	1		2
	科学的思考の基盤	医療統計学演習	2		2
		英語コミュニケーション	2		2
		医療英語	2		2
		社会福祉学	1		2
		哲学	1		2
		社会学	1		2
		生物学	1		2
		心理学	2		2
	教育学	2		2	

別表 I - (3) 薬学部

(基礎科目)

薬学部の基礎科目の単位数は次のとおりである。

薬学科

区分		科目名	年次	必修	選択	自由
大学共通基礎科目	共通英語	英語Ⅰ	1	2		
		英語Ⅱ	1		2	
	教育情報	情報処理入門	1	2		
		情報処理演習	2		2	
	総合教育	キャリア教育	1	2		
		コミュニケーション論	1	2		
		QOLと人間の尊厳	1	2		
		日向国地域論	1		2	
		国際保健福祉論	2		2	
		ボランティア活動	1		2	
学科基礎科目		外書講読Ⅰ	1	1		
		外書講読Ⅱ	2	1		
		外書講読Ⅲ	3	1		
		理科系作文法Ⅰ	1	1		
		理科系作文法Ⅱ	1	1		
		法学	1	1		
		医事法学総論	1	1		
		生物学	1	1		
		基礎機能形態学	1	1		
		物理学Ⅰ	1	1		
		物理学Ⅱ	1		1	
		化学Ⅰ	1	1		
		化学Ⅱ	1		1	
		化学演習Ⅰ	1			1
		化学演習Ⅱ	1			1
		薬学数学	1	1		
		薬学数学演習	1			1
		倫理学	1		1	
		哲学	2		1	
		病気を知る	1	1		
		総合学習Ⅰ	1	1		
		総合学習Ⅱ	2	1		
		総合学習Ⅲ	3	1		

動物生命薬科学科

区分	科目名	年次	必修	選択	
大学共通基礎科目	英語Ⅰ	1		2	
	英語Ⅱ	1		2	
	情報処理入門	情報処理入門	1		2
		情報処理演習	2		2
	総合教育	キャリア教育	2	2	
		コミュニケーション論	1		2
		QOLと人間の尊厳	1		2
		日向国地域論	1		2
		国際保健福祉論	2		2
		ボランティア活動	1		2
学科基礎科目	英語Ⅲ	3		2	
	英語Ⅳ	3		2	
	大学英語Ⅰ	2		2	
	大学英語Ⅱ	2		2	
	英会話Ⅰ	1		2	
	英会話Ⅱ	1		2	
	大学の英作文Ⅰ	2		2	
	大学の英作文Ⅱ	2		2	
	実用英語Ⅰ	1		2	
	実用英語Ⅱ	2		2	
	文学・人間・社会Ⅰ	2		2	
	文学・人間・社会Ⅱ	2		2	
	芸術・人間・社会Ⅰ	1		2	
	芸術・人間・社会Ⅱ	1		2	
	アジアと世界Ⅰ	1		2	
	アジアと世界Ⅱ	2		2	
	哲学	2		2	
	倫理学	1		2	
	PBLⅠ	2	2		
	PBLⅡ	2	2		
	国際政治学	1		2	
	大学の代数Ⅰ	1		2	
	大学の代数Ⅱ	1		2	
	化学Ⅰ	1		2	
	化学Ⅱ	1		2	
	化学Ⅲ	2		2	
	生物学Ⅰ	1		2	
	生物学Ⅱ	1		2	

別表 I - (4) 生命医科学部

(基礎科目)

生命医科学部の基礎科目の単位数は次のとおりである。

生命医科学科

区分		科目名	年次	必修	選択
大学共通基礎科目	共通英語	英語 I	1	2	
		英語 II	1		2
	教育情報	メディアリテラシー	1		2
		情報処理入門	1		2
		情報処理演習	2		2
	総合教育	エンカレッジ教育	1		2
		キャリア教育	2		2
		コミュニケーション論	1		2
		QOL 概論	1	1	
		人間の尊厳	1	1	
		日向国地域論	1		2
		国際保健福祉論	2		2
		国際人道援助論	2		2
	ボランティア活動	1		2	
学科基礎科目	英会話	1		2	
	実践英語 I	2		2	
	実践英語 II	2		2	
	実践英語 III	3		2	
	実践英語 IV	3		2	
	物理学	1		2	
	化学	1		2	
	生物学	1		2	
	分子生物学	1	2		
	基礎免疫学	1	2		
	法学	1		2	
	哲学	1		2	
	生命倫理学	1	2		
	心理学	1		2	
	統計学	1		2	
情報科学概論	2	2			

別表Ⅱ－(1) 社会福祉学部

(専門教育科目)

社会福祉学部の専門教育科目の単位数は次のとおりである。

スポーツ健康福祉学科

授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由
社会学	1		2		スポーツ実習Ⅲ(屋内球技)	1		1	
心理学	1		2		スポーツ実習Ⅳ(陸上)	2		1	
人体の構造と機能及び疾病	1		2		スポーツ実習Ⅴ(水泳)	2		1	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	1		2		スポーツ実習Ⅵ(ダンス)	2		1	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	1		2		スポーツ実習Ⅶ(柔道)	2		1	
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1		2		スポーツ実習Ⅷ(野外スポーツ実習)	1		1	
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	1		2		レクリエーション論	2		2	
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1		2		レクリエーション実技	2		1	
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1		2		健康運動指導論Ⅰ	3		2	
現代社会と福祉Ⅰ	1		2		健康運動指導論Ⅱ	4		2	
現代社会と福祉Ⅱ	1		2		健康運動指導論Ⅲ	4		2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	2		2		教育原論	2		2	
地域福祉の理論と方法Ⅰ	2		2		教育心理学	3		2	
地域福祉の理論と方法Ⅱ	2		2		教育相談	3		2	
社会保障Ⅰ	2		2		解剖学Ⅰ	1		2	
社会保障Ⅱ	2		2		解剖学Ⅱ	2		2	
相談援助の理論と方法Ⅰ	2		2		解剖学Ⅲ	2		2	
相談援助の理論と方法Ⅱ	2		2		身体の働きⅠ	2		2	
相談援助の理論と方法Ⅲ	3		2		身体の働きⅡ	2		2	
相談援助の理論と方法Ⅳ	3		2		リハビリテーション	3		2	
権利擁護と成年後見制度	2		2		病理学概論	2		2	
社会調査の基礎	2		2		衛生学Ⅰ	3		2	
保健医療サービス	3		2		衛生学Ⅱ	3		2	
福祉行財政と福祉計画	3		2		臨床医学総論Ⅰ	2		1	
就労支援サービス	3		1		臨床医学総論Ⅱ	2		1	
福祉サービスの組織と経営	3		2		臨床医学各論Ⅰ	2		1	
更生保護制度	3		1		臨床医学各論Ⅱ	3		1	
相談援助演習Ⅰ	2		1		臨床医学各論Ⅲ	3		1	
相談援助演習Ⅱ	2		1		臨床医学各論Ⅳ	4		1	
相談援助演習Ⅲ	3		1		鍼灸理論	3		2	
相談援助演習Ⅳ	3		1		東洋医学概論Ⅰ	1		2	
相談援助演習Ⅴ	4		1		東洋医学概論Ⅱ	1		1	
相談援助実習指導Ⅰ	2		1		経絡経穴学Ⅰ	1		1	
相談援助実習指導Ⅱ	3		1		経絡経穴学Ⅱ	1		1	
相談援助実習指導Ⅲ	3		1		経絡経穴学Ⅲ	2		1	
相談援助実習	3		4		東洋医学臨床論Ⅰ	2		2	
時事福祉学	4		2		東洋医学臨床論Ⅱ	3		2	
福祉関係法規	4		2		東洋医学臨床論Ⅲ	3		2	
連携実践演習	4		1		東洋医学臨床論Ⅳ	4		2	
認知症の理解Ⅰ	3		2		物理療法学	3		2	
認知症の理解Ⅱ	3		2		社会鍼灸学	4		2	
スクールソーシャルワーク論	3		2		臨床鍼灸実技Ⅰ	2		1	
スクールソーシャルワーク演習	3		1		臨床鍼灸実技Ⅱ	2		1	
医療ソーシャルワーク論	3		2		臨床鍼灸実技Ⅲ	3		1	
チーム医療概論	3		2		臨床鍼灸実技Ⅳ	3		1	
医療ソーシャルワーク実習指導	4		1		臨床鍼灸実技Ⅴ	4		1	
医療ソーシャルワーク実習	4		1		臨床鍼灸実技Ⅵ	4		1	
スポーツマネジメント	4		2		臨床灸実技Ⅰ	2		1	
スポーツ心理学Ⅰ	2		2		臨床灸実技Ⅱ	2		1	

授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由	授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由
スポーツ心理学Ⅱ	2		2		臨床灸実技Ⅲ	3		1	
スポーツ社会学	3		2		臨床灸実技Ⅳ	3		1	
運動学	3		2		臨床灸実技Ⅴ	4		1	
発育発達と老化	3		2		臨床灸実技Ⅵ	4		1	
運動生理学	2		2		臨床鍼灸実習Ⅰ（治療所）	3		2	
スポーツ栄養学Ⅰ	2		2		臨床鍼灸実習Ⅱ（治療所）	4		2	
スポーツ栄養学Ⅱ	4		2		スポーツ健康鍼灸学	3		2	
バイオメカニクス	1		2		医学概論	1		2	
トレーニング論	4		2		スポーツ健康福祉学演習Ⅰ	3	1		
体力学	2		2		スポーツ健康福祉学演習Ⅱ	3	1		
スポーツ医学Ⅰ	3		2		スポーツ健康福祉学演習Ⅲ	4	1		
スポーツ医学Ⅱ	3		2		スポーツ健康福祉学演習Ⅳ	4	1		
公衆衛生学	3		2		卒業研究Ⅰ	4	2		
スポーツファーストエイド	3		2		卒業研究Ⅱ	4	2		
アダプテッドスポーツ論	4		2		アスレティックトレーナー概論	2			1
コーチング論	4		2		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅰ	2			1
運動器の解剖と機能Ⅰ	2		2		スポーツ外傷・障害の基礎知識Ⅱ	2			1
運動器の解剖と機能Ⅱ	2		2		健康管理とスポーツ医学	2			1
スポーツ科学	4		2		検査・測定と評価Ⅰ	2			1
トレーニング科学	4		2		検査・測定と評価Ⅱ	3			1
スポーツ原理	1		2		予防とコンディショニングⅠ	3			1
スポーツ健康福祉論	1		2		予防とコンディショニングⅡ	3			1
運動処方論	3		2		予防とコンディショニングⅢ	4			1
体力学演習	3		1		アスレティックリハビリテーションⅠ	3			1
学校保健	3		2		アスレティックリハビリテーションⅡ	4			1
生活習慣病予防学	4		2		アスレティックリハビリテーションⅢ	4			1
健康スポーツ実習Ⅰ	1		2		アスレティックトレーナー実習Ⅰ	3			1
健康スポーツ実習Ⅱ	2		2		アスレティックトレーナー実習Ⅱ	3			1
健康スポーツ現場実習	3		2		アスレティックトレーナー実習Ⅲ	3			1
高齢者・障害者スポーツ実習	3		1		アスレティックトレーナー実習Ⅳ	3			1
スポーツ実習Ⅰ（器械体操）	1		1		アスレティックトレーナー実習Ⅴ	4			1
スポーツ実習Ⅱ（屋外球技）	2		1		アスレティックトレーナー実習Ⅵ	4			1

臨床福祉学科 臨床福祉専攻

授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由	授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由
社会学	1		2		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4		1	
心理学	1		2		精神保健福祉援助実習	4		4	
人体の構造と機能及び疾病	1		2		介護の基本Ⅰ	1		2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	1		2		介護の基本Ⅱ	1		2	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	1		2		介護の基本Ⅲ	2		2	
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1		2		介護の基本Ⅳ	2		2	
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	1		2		介護福祉学Ⅰ	4		2	
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1		2		介護福祉学Ⅱ	4		2	
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1		2		コミュニケーション技術Ⅰ	3		1	
現代社会と福祉Ⅰ	1		2		コミュニケーション技術Ⅱ	3		1	
現代社会と福祉Ⅱ	1		2		生活支援技術演習(基本Ⅰ)	1		1	
低所得者に対する支援と生活保護制度	2		2		生活支援技術演習(基本Ⅱ)	1		1	
地域福祉の理論と方法Ⅰ	2		2		生活支援技術演習(応用Ⅰ)	2		1	
地域福祉の理論と方法Ⅱ	2		2		生活支援技術演習(応用Ⅱ)	2		1	
社会保障Ⅰ	2		2		生活支援技術演習(終末期)	3		2	
社会保障Ⅱ	2		2		生活支援技術演習(家事Ⅰ)	1		1	
相談援助の理論と方法Ⅰ	2		2		生活支援技術演習(家事Ⅱ)	1		1	
相談援助の理論と方法Ⅱ	2		2		生活支援技術演習(環境Ⅰ)	4		2	
相談援助の理論と方法Ⅲ	3		2		生活支援技術演習(環境Ⅱ)	4		2	
相談援助の理論と方法Ⅳ	3		2		生活支援技術演習(総括)	4		1	
権利擁護と成年後見制度	2		2		介護過程Ⅰ	2		1	
社会調査の基礎	2		2		介護過程Ⅱ	3		1	
保健医療サービス	3		2		介護過程Ⅲ	3		2	
福祉行財政と福祉計画	3		2		介護過程Ⅳ	4		1	
就労支援サービス	3		1		介護総合演習Ⅰ	2		1	
福祉サービスの組織と経営	3		2		介護総合演習Ⅱ	2		1	
更生保護制度	3		1		介護総合演習Ⅲ	3		1	
相談援助演習Ⅰ	2		1		介護総合演習Ⅳ	4		1	
相談援助演習Ⅱ	2		1		介護実習Ⅰ	2		3	
相談援助演習Ⅲ	3		1		介護実習Ⅱ	2		3	
相談援助演習Ⅳ	3		1		介護実習Ⅲ	3		4	
相談援助演習Ⅴ	4		1		医療的ケアⅠ	3		2	
相談援助実習指導Ⅰ	2		1		医療的ケアⅡ	3		1	
相談援助実習指導Ⅱ	3		1		こころとからだのしくみⅠ	1		2	
相談援助実習指導Ⅲ	3		1		こころとからだのしくみⅡ	2		2	
相談援助実習	3		4		発達と老化の理解Ⅰ	3		2	
時事福祉学	4		2		発達と老化の理解Ⅱ	3		2	
福祉関係法規	4		2		障害の理解	2		2	
連携実践演習	4		1		社会心理学	1		2	
認知症の理解Ⅰ	3		2		発達心理学	1		2	
認知症の理解Ⅱ	3		2		臨床心理学	1		2	
スクールソーシャルワーク論	3		2		臨床社会心理学	2		2	
スクールソーシャルワーク演習	3		1		運動療法	2		2	
医療ソーシャルワーク論	3		2		高齢者音楽療法	2		2	
チーム医療概論	3		2		レクリエーション論	2		2	
医療ソーシャルワーク実習指導	4		1		レクリエーション実技	2		1	
医療ソーシャルワーク実習	4		1		公衆衛生学	3		2	
精神保健福祉援助技術総論	1		2		福祉住環境論	3		2	
精神医学Ⅰ	2		2		福祉住環境デザイン	3		2	
精神医学Ⅱ	2		2		福祉施設とまちづくり	3		2	
精神保健学Ⅰ	3		2		介護概論	2		2	
精神保健学Ⅱ	3		2		教育原論	2		2	
精神科リハビリテーション学Ⅰ	3		2		教育心理学	3		2	
精神科リハビリテーション学Ⅱ	3		2		教育相談	3		2	
精神保健福祉論Ⅰ	2		2		基礎カウンセリングⅠ	2		2	
精神保健福祉論Ⅱ	2		2		基礎カウンセリングⅡ	2		2	
精神保健福祉論Ⅲ	3		2		福祉カウンセリング	3		2	

授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由	授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由
精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	4		2		臨床福祉学演習Ⅰ	3	1		
精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	4		2		臨床福祉学演習Ⅱ	3	1		
精神保健福祉援助演習Ⅰ	3		1		臨床福祉学演習Ⅲ	4	1		
精神保健福祉援助演習Ⅱ	4		1		臨床福祉学演習Ⅳ	4	1		
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3		1		卒業研究Ⅰ	4	2		
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4		1		卒業研究Ⅱ	4	2		

介護福祉士資格に関する科目は介護福祉コースのみ履修可能

臨床福祉学科 臨床心理専攻

授業科目の名称	年次	必修	選択	自由	授業科目の名称	年次	必修	選択	自由
社会学	1		2		精神保健福祉論Ⅱ	2		2	
心理学	1		2		精神保健福祉論Ⅲ	3		2	
人体の構造と機能及び疾病	1		2		精神保健福祉援助技術各論Ⅰ	4		2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	1		2		精神保健福祉援助技術各論Ⅱ	4		2	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	1		2		精神保健福祉援助演習Ⅰ	3		1	
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	1		2		精神保健福祉援助演習Ⅱ	4		1	
高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	1		2		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3		1	
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1		2		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4		1	
相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1		2		精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4		1	
現代社会と福祉Ⅰ	1		2		精神保健福祉援助実習	4		4	
現代社会と福祉Ⅱ	1		2		動物人間関係学	1		2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	2		2		動物行動学	1		2	
地域福祉の理論と方法Ⅰ	2		2		動物病理学	3		2	
地域福祉の理論と方法Ⅱ	2		2		動物適正飼養・トレーニング学	2		2	
社会保障Ⅰ	2		2		アニマルセラピー概論Ⅰ	2		2	
社会保障Ⅱ	2		2		アニマルセラピー概論Ⅱ	2		2	
相談援助の理論と方法Ⅰ	2		2		動物トレーニング実習Ⅰ	2		1	
相談援助の理論と方法Ⅱ	2		2		動物トレーニング実習Ⅱ	3		1	
相談援助の理論と方法Ⅲ	3		2		アニマルセラピー演習Ⅰ	3		1	
相談援助の理論と方法Ⅳ	3		2		アニマルセラピー演習Ⅱ	3		1	
権利擁護と成年後見制度	2		2		アニマルセラピー学外実習	4		2	
社会調査の基礎	2		2		トリミング演習	2		1	
保健医療サービス	3		2		社会心理学	1		2	
福祉行財政と福祉計画	3		2		発達心理学	1		2	
就労支援サービス	3		1		臨床心理学	1		2	
福祉サービスの組織と経営	3		2		心理学研究法	1		2	
更生保護制度	3		1		心理統計学	1		2	
相談援助演習Ⅰ	2		1		教育原論	2		2	
相談援助演習Ⅱ	2		1		教育心理学	3		2	
相談援助演習Ⅲ	3		1		学習心理学	2		2	
相談援助演習Ⅳ	3		1		心理学基礎実験・実習	2		2	
相談援助演習Ⅴ	4		1		心理検査法実習	3		2	
相談援助実習指導Ⅰ	2		1		発達臨床心理学	3		2	
相談援助実習指導Ⅱ	3		1		健康心理学	4		2	
相談援助実習指導Ⅲ	3		1		心理療法	3		2	
相談援助実習	3		4		教育相談	3		2	
時事福祉学	4		2		臨床社会心理学	2		2	
福祉関係法規	4		2		対人行動論	3		2	
連携実践演習	4		1		基礎カウンセリングⅠ	2		2	
認知症の理解Ⅰ	3		2		基礎カウンセリングⅡ	2		2	
認知症の理解Ⅱ	3		2		福祉カウンセリング	3		2	
スクールソーシャルワーク論	3		2		キャリアカウンセリング	4		2	
スクールソーシャルワーク演習	3		1		カウンセリング実習	4		2	
医療ソーシャルワーク論	3		2		絵画療法	3		2	
チーム医療概論	3		2		音楽療法	3		2	
医療ソーシャルワーク実習指導	4		1		レクリエーション論	2		2	
医療ソーシャルワーク実習	4		1		レクリエーション実技	2		1	
精神保健福祉援助技術総論	1		2		公衆衛生学	4		2	
精神医学Ⅰ	2		2		福祉住環境論	4		2	
精神医学Ⅱ	2		2		臨床福祉学演習Ⅰ	3	1		
精神保健学Ⅰ	3		2		臨床福祉学演習Ⅱ	3	1		
精神保健学Ⅱ	3		2		臨床福祉学演習Ⅲ	4	1		
精神科リハビリテーション学Ⅰ	3		2		臨床福祉学演習Ⅳ	4	1		
精神科リハビリテーション学Ⅱ	3		2		卒業研究Ⅰ	4	2		
精神保健福祉論Ⅰ	2		2		卒業研究Ⅱ	4	2		

(教職に関する科目)

教職免許状を得ようとする者の科目の単位数は次のとおりである。

免許状の種類	授業科目の名称	年次	単位数	授業科目の名称	年次	単位数
中学校教諭 一種免許状 (保健体育)	教職論	1	2	教育方法論	3	2
	教育行政学	2	2	生徒指導等の研究	2	2
	教育課程論	2	2	教職実践演習(中・高)	4	2
	福祉科教育法	3	4	教育実習の研究	3	1
高等学校教諭 一種免許状 (福祉) (保健体育)	保健体育科教育法Ⅰ	3	4	教育実習Ⅰ	4	2
	保健体育科教育法Ⅱ	3	4	教育実習Ⅱ	4	2
	道徳教育の指導法	2	2			
	特別活動の指導法	2	2			

別表Ⅱ－（２）保健科学部

（専門教育科目）

保健科学部の専門教育科目の単位数は次のとおりである。

作業療法学科

授業科目の名称	年次	必修	選択	授業科目の名称	年次	必修	選択
解剖学	1	4		作業療法研究法	3	1	
解剖学実習	1	2		管理運営学	4		1
生理学	1	2		作業療法評価Ⅰ	2	2	
生理学実習	1	1		作業療法評価Ⅱ	2	3	
運動学	2	4		作業療法評価Ⅲ	3	2	
運動学実習	2	2		作業療法評価Ⅳ	3	2	
人間・運動発達学	2	2		身体障害作業療法Ⅰ	3	2	
病理学	1		2	身体障害作業療法Ⅱ	3	2	
一般臨床医学	1	2		精神障害作業療法Ⅰ	3	2	
内科学	2	2		精神障害作業療法Ⅱ	3	2	
整形外科学	2	2		発達障害作業療法Ⅰ	3	2	
神経内科学	2	2		発達障害作業療法Ⅱ	3	2	
小児科学	2	2		老年期障害作業療法Ⅰ	3	2	
精神医学Ⅰ	1	2		老年期障害作業療法Ⅱ	3	2	
精神医学Ⅱ	2	2		機能代償Ⅰ	3	1	
老年医学	2	2		機能代償Ⅱ	3	1	
神経科学特論	2	2		日常生活活動概論	1	2	
リハビリテーション医学	2	2		日常生活活動技能Ⅰ	2	1	
公衆衛生学	1		2	日常生活活動技能Ⅱ	2	2	
臨床心理学	1		2	地域作業療法学Ⅰ	3	2	
薬理学	1		2	地域作業療法学Ⅱ	4	1	
カウンセリング論	1		2	地域作業療法学演習	3	1	
園芸論	1		2	高次脳機能障害作業療法	3	1	
園芸療法論	1		4	臨床特論	4		2
園芸療法実習	2		2	生活環境論	3		2
ガーデニングⅠ	2		2	臨床見学実習Ⅰ	1	1	
ガーデニングⅡ	4		4	臨床見学実習Ⅱ	1	1	
言語・聴覚障害概論	3		2	臨床体験実習	2	1	
視覚障害概論	3		2	臨床評価実習	3	2	
理学療法概論	3		2	総合臨床実習Ⅰ	4	8	
レクリエーション論	2		2	総合臨床実習Ⅱ	4	8	
レクリエーション演習	3		1	研究特論	3		1
作業療法概論Ⅰ	1	2		特別課題研究Ⅰ	3		1
作業療法概論Ⅱ	1		2	特別課題研究Ⅱ	4		1
作業活動分析学・演習	2	3					

言語聴覚療法学科

授業科目の名称	年次	必修	選択	授業科目の名称	年次	必修	選択
解剖学	1	2		言語発達障害演習Ⅱ	3	1	
生理・病理学	1	2		構音障害	2	2	
臨床医学	2	2		スピーチ・リハビリテーション	2	2	
精神医学	3	2		スピーチ・リハビリテーション演習Ⅰ	3	1	
リハビリテーション医学	2	2		スピーチ・リハビリテーション演習Ⅱ	3	1	
耳鼻咽喉科学	2	2		嚥下障害	2	2	
臨床歯科医学	3	2		嚥下障害演習Ⅰ	2	1	
呼吸発声発語系の構造、機能、病態	2	2		嚥下障害演習Ⅱ	3	1	
聴覚系の構造、機能、病態	2	2		聴覚障害	1	2	
神経系の構造、機能、病態	2	2		聴覚障害演習Ⅰ	2	1	
臨床心理学	3	2		聴覚障害演習Ⅱ	3	1	
生涯発達心理学	1	2		聴覚検査	2	2	
生涯発達心理学演習	2	1		聴覚検査演習	3	1	
学習・認知心理学	2	2		臨床実習Ⅰ	1	1	
学習・認知心理学演習	2	1		臨床実習Ⅱ	2	1	
心理測定法演習	2	1		臨床実習Ⅲ	2	1	
言語学	1	2		臨床実習Ⅳ	3	1	
音声学	1	2		保健科学概論	2	1	
音声学演習	2	1		学外評価臨床実習	3	4	
音響学演習	2	1		学外総合臨床実習	4	8	
聴覚心理学演習	2	1		言語聴覚障害基礎ゼミⅠ	1	1	
言語発達学	1	2		言語聴覚障害基礎ゼミⅡ	1	1	
リハビリテーション概論	1	1		言語聴覚障害基礎ゼミⅢ	2	1	
公衆衛生学	4	2		言語聴覚障害基礎ゼミⅣ	2	1	
言語聴覚障害概論	1	2		言語聴覚障害専門ゼミⅠ	3	1	
言語聴覚障害診断学演習Ⅰ	1	1		言語聴覚障害専門ゼミⅡ	3	1	
言語聴覚障害診断学演習Ⅱ	2	1		言語聴覚障害専門ゼミⅢ	4	1	
失語症	1	2		言語聴覚障害特講Ⅰ	3	1	
失語症演習Ⅰ	2	1		言語聴覚障害特講Ⅱ	4	1	
失語症演習Ⅱ	3	1		高齢障害演習	2		1
高次脳機能障害演習Ⅰ	2	1		新生児障害演習	2		1
高次脳機能障害演習Ⅱ	3	1		言語聴覚療法管理運営学演習	4		1
言語発達障害Ⅰ	1	2		コミュニケーション機器論演習	3	1	
言語発達障害Ⅱ	2	2		言語聴覚障害社会支援演習	3		1
言語発達障害演習Ⅰ	2	1		言語聴覚障害家族支援演習	3	1	

視機能療法学科

授業科目の名称	年次	必修	選択	授業科目の名称	年次	必修	選択
解剖学	1	2		視能検査学実習Ⅰ	2	3	
生理学	1	2		視能検査学実習Ⅱ	2	3	
臨床心理学	2	2		視能検査学実習Ⅲ	3	2	
発達心理学	2	2		視能検査学実習Ⅳ	3	2	
病理学	1	2		視能検査学総合実習Ⅰ	3	2	
内科学	2	2		視能検査学総合実習Ⅱ	3	2	
公衆衛生学	2	2		視能障害学Ⅰ	1	2	
臨床医学	2	2		視能障害学Ⅱ	2	2	
基礎医学演習	1	1		視能障害学Ⅲ	2	2	
視能学基礎演習Ⅰ	1		1	視能障害学Ⅳ	3	4	
視能学基礎演習Ⅱ	1		1	視能リハビリテーション学演習	3	2	
視器の解剖生理学演習	1	2		視能矯正・訓練学演習Ⅰ	3	3	
屈折学基礎演習Ⅰ	1	1		視能矯正・訓練学演習Ⅱ	3	2	
屈折学基礎演習Ⅱ	2	1		屈折学各論実習Ⅰ	3	2	
屈折学評価実習Ⅰ	2	2		屈折学各論実習Ⅱ	3	2	
屈折学評価実習Ⅱ	2	2		臨地実習Ⅰ	4	7	
屈折学特論演習	4	1		臨地実習Ⅱ	4	7	
保育	3	2		基礎ゼミⅠ	1		2
保健・医療・福祉と関係法規	1	2		基礎ゼミⅡ	1		2
リハビリテーション概論	3	1		基礎ゼミⅢ	2		1
外眼筋の作用と眼球運動	2	2		専門ゼミⅠ	3	2	
両眼視の基礎	2	2		専門ゼミⅡ	3	2	
視覚生理学	2	2		専門ゼミⅢ	4	2	
眼科薬理学	3	2		視能学総合演習Ⅰ	3	2	
斜視・弱視の基本的知識	2	2		視能学総合演習Ⅱ	4	4	

臨床工学科

授業科目の名称	年次	必修	選択	授業科目の名称	年次	必修	選択
病理学	3	2		医用工学	1	2	
病理学演習	3		1	医用工学演習	1	1	
解剖学	1	2		生体機能工学	3		2
解剖学演習	1		1	画像診断学	3		2
生理学	1	2		生体計測装置学Ⅰ	1	2	
生理学演習	1		1	生体計測装置学Ⅱ	3	2	
生化学	2	2		生体計測装置学演習	3		1
基礎医工学実習	1	1		生体計測装置学実習	3	1	
公衆衛生学	1	2		臨床検査機器学	2	2	
臨床感染免疫学	3	2		医用治療機器学	2	2	
臨床薬理学	3	2		医用治療機器学演習	2		1
医用電気工学Ⅰ	1	2		医用治療機器学実習	2	1	
医用電気工学Ⅱ	1	2		生体機能代行装置学Ⅰ	2	2	
医用電気工学演習Ⅰ	1	1		生体機能代行装置学Ⅱ	3	2	
医用電気工学演習Ⅱ	1	1		生体機能代行装置学Ⅲ	3	2	
医用電気工学実習	2	1		生体機能代行装置学演習Ⅰ	2	1	
医用電子工学Ⅰ	2	2		生体機能代行装置学演習Ⅱ	3	1	
医用電子工学Ⅱ	2	2		生体機能代行装置学演習Ⅲ	3	1	
医用電子工学演習Ⅰ	2	1		生体機能代行装置学演習Ⅳ	4	1	
医用電子工学演習Ⅱ	2	1		生体機能代行装置学実習Ⅰ	2	1	
医用電子工学実習	2	1		生体機能代行装置学実習Ⅱ	3	1	
物性工学	3	2		生体機能代行装置学実習Ⅲ	3	1	
物性工学演習	3		1	医用機器安全管理学	3	2	
材料工学	3	2		医用機器安全管理学演習	3	1	
材料工学演習	3		1	医用機器安全管理学実習	3	1	
医用機器工学	3	2		患者安全管理学	3	2	
医用機器工学演習	3		1	臨床医学総論Ⅰ	2	2	
医用化学	1	2		臨床医学総論Ⅱ	2	2	
応用数学	2	2		臨床医学総論Ⅲ	3	2	
応用数学演習	2	1		臨床医学総論Ⅳ	3	2	
医療情報処理工学	1	2		看護学概論	3	2	
医療情報処理工学実習	1	1		臨床実習	4	4	
システム工学	3	2		臨床指導	4	1	
臨床工学概論	1	2		総合演習	4	1	
臨床工学演習	1		1	卒業研究	4	2	

別表Ⅱ－(3) 薬学部

(専門教育科目)

薬学部の専門教育科目の単位数は次のとおりである。

薬学科

授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由	授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由
薬学入門	1	1			衛生化学Ⅰ	2	1		
プレゼンテーション概論	1	1			衛生化学Ⅱ	3	1		
医薬情報学	3	1			臨床検査学	3	1		
医薬情報学演習	4	1			薬物代謝学	3	1		
くすりの歩み	2		1		公衆衛生学	3	1		
薬学と生命倫理Ⅰ	2	1			身体の特異な働き	2		1	
薬学と生命倫理Ⅱ	3	1			環境科学	1	1		
医療概論	1	1			食品栄養学	4		1	
コミュニケーション演習	4	1			栄養管理学	4		1	
薬学英語Ⅰ	2		1		薬局方概論	3	1		
薬学英語Ⅱ	4		1		薬剤学Ⅰ	2	1		
無機化学Ⅰ	1	1			薬剤学Ⅱ	2	1		
無機化学Ⅱ	2	1			薬剤学Ⅲ	3	1		
有機化学Ⅰ	1	1			製剤学	3	1		
有機化学Ⅱ	2	1			調剤学	3	1		
有機化学Ⅲ	2	1			基礎薬物動態学	2		1	
有機化学Ⅳ	3	1			薬物動態学Ⅰ	3	1		
医薬品化学	4	1			薬物動態学Ⅱ	3	1		
放射化学・薬品学	2	1			薬物治療学Ⅰ	3	1		
生物有機化学	3	1			薬物治療学Ⅱ	3	1		
反応有機化学	3	1			薬物治療学Ⅲ	4	1		
分析化学Ⅰ	1	1			薬物治療学Ⅳ	4	1		
分析化学Ⅱ	2	1			薬物治療学Ⅴ	4	1		
分析化学Ⅲ	2	1			薬物治療学Ⅵ	4	1		
機器分析学	3	1			一般用医薬品学	4	1		
応用機器分析学	3	1			医事法学演習	4	1		
物理化学Ⅰ	2	1			薬事関係法規Ⅰ	4	1		
物理化学Ⅱ	2	1			薬事関係法規Ⅱ	6	1		
基礎生化学	1	1			治験コーディネーター論	6	1		
生化学Ⅰ	2	1			基礎薬学総合演習	4	8		
生化学Ⅱ	2	1			セーフティマネジメント演習	5	1		
生化学Ⅲ	2	1			先端医療学	5	1		
ウイルス学	2	1			病院薬学演習	5	1		
細菌学	3	1			一般用医薬品学演習	5	1		
生物統計学	2	1			食品医薬品相互作用論	5	1		
細胞生物学	3	1			乱用薬物・毒物学	5	1		
遺伝子工学	4	1			漢方治療学演習	5	1		
腫瘍治療学	4	1			薬学総合演習Ⅰ	6	5		
薬用植物学	1	1			薬学総合演習Ⅱ	6	5		
生薬学	2	1			薬化学実習	2	1		
天然医薬品化学Ⅰ	3	1			分析学実習	2	1		
天然医薬品化学Ⅱ	4	1			生薬学実習	3	1		
和漢薬学	2	1			基礎生化学実習	2	1		
東洋医薬学	3	1			生化学実習	3	1		
漢方治療学	4	1			基礎薬理学実習	3	1		
機能形態学Ⅰ	1	1			薬理学実習	3	1		
機能形態学Ⅱ	1	1			薬剤学実習	3	1		
機能形態学Ⅲ	2	1			衛生薬学実習	3	1		
病理学	2	1			実務実習事前学習Ⅰa	4	1		
生理・薬理学Ⅰ	2	1			実務実習事前学習Ⅰb	4	1		
生理・薬理学Ⅱ	2	1			実務実習事前学習Ⅰc	4	1		
生理・薬理学Ⅲ	2	1			実務実習事前学習Ⅱa	4	1		
生理・薬理学Ⅳ	2	1			実務実習事前学習Ⅱb	4	1		
生理・薬理学Ⅴ	3	1			実務実習事前学習Ⅱc	4	1		
生理・薬理学Ⅵ	3	1			特別研究Ⅰ	5	4		

授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由	授 業 科 目 の 名 称	年次	必修	選択	自由
応用薬理学	3	1			特別研究Ⅱ	6	8		
免疫学	3	1			実務実習Ⅰ	5	10		
臨床医学概論	4	1			実務実習Ⅱ	5	10		

動物生命薬科学科

授業科目の名称	年次	必修	選択	授業科目の名称	年次	必修	選択
飼料学	2		2	動物臨床演習	3		2
薬用植物学	1		2	動物臨床実習Ⅰ	3		2
解剖学Ⅰ	1	2		動物臨床実習Ⅱ	3		2
解剖学Ⅱ	1	2		公衆衛生学Ⅰ	2	2	
解剖学実習Ⅰ	1	2		公衆衛生学Ⅱ	2	2	
解剖学実習Ⅱ	1	2		公衆衛生学Ⅲ	3	2	
生理学Ⅰ	1	2		公衆衛生学Ⅳ	4	2	
生理学Ⅱ	1	2		公衆衛生学演習Ⅰ	3	2	
生理学Ⅲ	1		2	公衆衛生学演習Ⅱ	4	2	
有機化学Ⅰ	1	2		畜産学Ⅰ	3		2
有機化学Ⅱ	2		2	畜産学Ⅱ	3		2
基礎生化学	1	2		外書講読Ⅰ	3		2
生化学	2		2	外書講読Ⅱ	3		2
基礎生化学演習	2		2	外書講読Ⅲ	4		2
統計学Ⅰ	2		2	外書講読Ⅳ	4		2
統計学Ⅱ	2		2	生涯学習概論	3		2
実験動物学	2	4		博物館概論	3		2
実験動物学演習	3		2	博物館経営論	4		2
実験動物学実習	3		2	博物館資料論Ⅰ	3		1
環境生物学Ⅰ	2		2	博物館資料論Ⅱ	3		1
環境生物学Ⅱ	2		2	博物館資料保存論	3		2
微生物学Ⅰ	2	2		博物館展示論Ⅰ	3		1
微生物学Ⅱ	2	2		博物館展示論Ⅱ	3		1
微生物学Ⅲ	3		2	博物館教育論	3		2
微生物学実習	3	2		博物館情報・メディア論	3		2
組織学Ⅰ	1		2	博物館実習	4		3
組織学Ⅱ	1		2	動物と芸術	2		2
薬理学Ⅰ	2	2		動物と音楽	2		2
薬理学Ⅱ	2		2	基礎実習Ⅰ	1	2	
薬理学Ⅲ	4		2	基礎実習Ⅱ	1	2	
病理学総論	2	2		飼育実習Ⅰ	3	2	
病理学各論	2	2		飼育実習Ⅱ	3	2	
寄生虫学	3	2		飼育実習Ⅲ	4	2	
栄養学	2		2	飼育実習Ⅳ	4	2	
動物感染症学	3		2	特別演習	3		2
動物繁殖学	3		2	課外実習	3		1
動物臨床Ⅰ	2		2	総合演習Ⅰ	3	2	
動物臨床Ⅱ	3		2	総合演習Ⅱ	3	2	
動物臨床Ⅲ	3		2	総合演習Ⅲ	4	2	
動物臨床Ⅳ	3		2	総合演習Ⅳ	4	2	
動物臨床Ⅴ	3		2	卒業研究	4	2	
動物臨床Ⅵ	3		2				

別表Ⅱ－（４）生命医科学部

（専門教育科目）

生命医科学部の専門教育科目の単位数は次のとおりである。

生命医科学科

授業科目の名称	年次	必修	選択	授業科目の名称	年次	必修	選択
生命医科学概論Ⅰ	1	2		臨床免疫学実習Ⅰ	3	1	
生命医科学概論Ⅱ	1	2		臨床免疫学実習Ⅱ	3	2	
医学概論	1	2		臨床検査総論	2	2	
公衆衛生学	3		2	臨床検査総論実習	2	2	
解剖学Ⅰ	1	2		臨床生理学Ⅰ	2	2	
解剖学Ⅱ	2	2		臨床生理学Ⅱ	2	2	
解剖学実習	2	1		臨床生理学Ⅲ	3	2	
生理学Ⅰ	1	2		臨床生理学実習	3	2	
生理学Ⅱ	1	2		臨床化学Ⅰ	2	2	
生理学実習	2	1		臨床化学Ⅱ	2	2	
病理学Ⅰ	2	2		臨床化学実習Ⅰ	3	1	
病理学Ⅱ	2	2		臨床化学実習Ⅱ	3	2	
病理学実習	3	1		RⅠ検査学	2	2	
生化学Ⅰ	1	2		医療安全管理学	3	2	
生化学Ⅱ	1	2		医療安全管理学実習	3	1	
生化学実習	2	1		検査管理総論（関係法規含む）	3	2	
微生物学Ⅰ	1	2		遺伝子検査学	2		2
微生物学Ⅱ	2	2		臨床医学総論	3		2
微生物学実習	2	1		臨床検査医学総論	3		2
医動物学	3	2		臨床実習	3	5	
医動物学実習	3	1		臨床検査学演習Ⅰ	4		2
検査機器総論Ⅰ	1	2		臨床検査学演習Ⅱ	4		2
検査機器総論Ⅱ	1	2		臨床細胞学総論Ⅰ	1		2
検査基礎実習	1		1	臨床細胞学総論Ⅱ	2		2
医用工学概論	1	2		臨床細胞学総論Ⅲ	2		2
医用工学実習	1	1		臨床細胞学演習Ⅰ	3		1
臨床血液学Ⅰ	2	2		臨床細胞学演習Ⅱ	3		1
臨床血液学Ⅱ	2	2		細胞診断学特論Ⅰ	4		4
臨床血液学実習	3	2		細胞診断学特論Ⅱ	4		4
臨床免疫学Ⅰ	2	2		生命医科学卒業研究Ⅰ	4		8
臨床免疫学Ⅱ	2	2		生命医科学卒業研究Ⅱ	4		8
臨床免疫学Ⅲ	3	2					

別表Ⅲ（納付金）

一 入学検定料 30,000円（ただし，大学入試センター試験利用入試は15,000円，専願入試は10,000円）

二 入 学 金 300,000円

三 授業料，その他納付金

社会福祉学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
スポーツ健康福祉学科	853,000円	350,000円	1,203,000円
臨床福祉学科	853,000円	350,000円	1,203,000円
子ども保育福祉学科	853,000円	350,000円	1,203,000円

保健科学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
作業療法学科	1,146,000円	350,000円	1,496,000円
言語聴覚療法学科	1,146,000円	350,000円	1,496,000円
視機能療法学科	1,146,000円	350,000円	1,496,000円
臨床工学科	1,146,000円	350,000円	1,496,000円

薬学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
薬 学 科	1,496,000円	520,000円	2,016,000円
動物生命薬科学科	1,146,000円	350,000円	1,496,000円

生命医科学部

学 科 名	授 業 料	施設設備費	合 計
生 命 医 科 学 科	1,146,000円	350,000円	1,496,000円